



## 子供は地域で育つ 学校づくりは街づくり

副校長 保土澤 尚教

11月20日の音楽科学習発表会では、多くの皆様にご覧いただき、ありがとうございました。音を合わせ、思いを合わせた子供たちの演奏は、これまで学習を積み重ねてきた集大成として、我々の心に響き渡りました。松仙小学校の仲間と、音楽を創り奏でた経験は、子供たちの成長へ確実に繋がると強く実感しています。

「夏休み前から練習し、その成果が出た素晴らしい演奏で、聴いていて楽しく、豊かな気持ちになりました。」「演奏の一音目で鳥肌が立ち、心が熱くなりました。」「家でも、自分で工夫し、Chromebookで演奏や音楽を聴いて練習していました。」という感想をアンケートから拝読し、ご家庭でもお子様を励まし、勇気付けていただいたことが伝わってきました。我々も、保護者の存在の大きさと、家庭と連携した学習の効果を、再認識しています。さらに、当日は本校PTA、おやじの会の多くの皆様に、準備から運営まで多方面においてお力添えをいただきました。皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。

さて、11月は児童虐待防止月間でした。児童虐待は年々増加傾向にあり、大田区内も同様です。その要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による生活不安やストレス等が報道されていますが、子育てをする社会環境の変化も大きいのではないかと考えています。子育てや働き方も多様になる中、子供も保護者も不安になったり孤立しやすくなったりする状況が新たに生まれ、子供の心身に深い傷を残す行為に及びやすくなる可能性が考えられます。本校でも、その疑いが認められる場合には、子供の安全を守るために、児童相談所等への通告義務があります。

子育ての内容や状況は千差万別です。私も、日々子育てに追われながら、職員や保護者の方と話さずには、様々な示唆を得て自己の感情を落ち着け、家庭に帰って子供の言動の捉え方を学んでいます。ただ、困っていることが解消されない状況が続くと、しつけと虐待の線引きが曖昧になりやすい不安を感じることがあります。そもそも、虐待か否かは保護者の立場からではなく、子供の様子や状況から判断されるものですが、自分の思うようにいかない時に、その感覚が揺らぎやすいのかもしれませんが。保護者同士でお互いに声を掛け合うことも気を遣う状況は続いています。挨拶や何気ない関わりを大切に、ストレスフルな時に子育てを一休みできる方法を知ること、大切ではないかと考えています。

12月は個人面談を予定しております。お子様の成長に関するご相談がありましたら、本校の教職員、養護教諭、スクールカウンセラー等へお伝えいただくことはもちろん、大田区の相談窓口や品川児童相談所等といった、地域の関係機関も必要に応じてご活用ください。どの子にも共通の即効性のある「答え」を導くことは非常に難しいですが、様々な考え方や対応方法を共有して、今後の見通しをもち、現状の改善を図っていきましょう。

子供たちの奏でた音や思いが、すてきな音楽となって音楽科学習発表会を創り上げてくれたように、各家庭、学校、地域のつながりを生かして子供たちを見守っていきたく思います。本校の教育活動が、この地域の街づくりにつながっていくという自覚を新たに、2学期最後となる12月の学校生活を充実したものにしていきます。

## 2年生「生活科 町探険」

2年1組 担任

2学期の生活科の学習では、「町と関わる単元」の学習を行っています。この学習では、町で働いている人や生活している人と関わりを深める活動を通して、町の良さに気付くことをねらいとしています。

先日、自分たちが住んでいる町にはどんなお店があるかを調べるために、おんたけ商店街と、久が原ライラック通りに町探険に行きました。今までに商店街に行ったことがある子も、「こんなお店があるなんて知らなかった。」、初めて行った子も、「たくさんのお店があることがわかった。」、「おうちの人と〇〇というお店に今度行ってみたい。」と、気付くことが多かったようです。現在、学習のまとめとして、この探険で分かった町の良さを入れながら、グループごとに地図を作っています。

12月2日(木)には、たくさんの方が利用する施設を見学する目的で、久が原図書館に町探険に行きます。図書館では、どんな仕事をしている人がいるのかを調べてくる予定です。子供たちがどんな発見をできたか、ぜひ聞いてみてください。

## 子供のよさに目を向けよう

サポートルーム担当

ご家庭で子供たちと過ごす時間は意外と短いものです。どんな会話をされていますか。日常の生活に追われて、親からの伝達や指示が多く、時には命令口調で会話してしまうことは少なくないと思います。子供がゆっくりと自分の思いを話せる時間も大切になりたいですね。そのために、子供のよいところに目を向けるのはいかがでしょうか。例えば、いつもより早く起きた、物を見つけてくれた、靴をそろえたなど、ちょっとした日常のよさに目を向けると、「今日は早起きだね。」、「見つけてくれてありがとう。」、「靴がきれいだね。」などポジティブな会話がが増えていきます。子供が自分のよさに気づけることが日常になると、自然と自分に自信をもてることに繋がります。



## 12月～1月上旬の行事予定

日	曜	行事等	放
1	水	4時間授業 研究授業⑦(5-4)	×
2	木	個人面談① 4時間授業 歯科指導 1	×
3	金	生命尊重週間終 個人面談② 4時間授業	×
4	土		
5	日		
6	月	4時間授業 個人面談③	×
7	火	4時間授業 個人面談④	×
8	水	特別時程 5時間授業 個人面談⑤	×
9	木	特別時程 5時間授業 個人面談⑥	×
10	金	4時間授業(掃除あり) 安全指導	×
11	土	土曜 3時間授業 たてわり班活動	×
12	日		
13	月	放送屋会	×
14	火	クラブ 避難訓練(火災・煙体験 135)	×
15	水	特別時程	×
16	木	読書学習の時間(たてわり班引継ぎ準備 56)	×
17	金	松仙タイム	×
18	土	小学生駅伝	
19	日		
20	月	放送屋会なし 読書学習の時間(たてわり班引継ぎ式 56)	×
21	火	特別時程	×
22	水	特別時程 薬物乱用防止教室 6	×
23	木	給食終 大掃除	×
24	金	終業式 4時間授業	×
25	土		
26	日		
27	月	冬季休業日始	
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		
1	土	元日	
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金	冬季休業日終	
8	土		
9	日		
10	月	成人の日	
11	火	始業式 4時間授業	×
12	水	通常時程 安全指導 委員会 5h 給食始	×
13	木	フッ素塗布 4	×
14	金	読書学習の時間(たてわり班活動計画 5)	×

### 【見方】

- 半角数字は学年 (例：遠足 4 = 4年生の遠足)
- hは実施の時間 (例：1h = 1時間目)
- ○数字は回数 (例：クラブ① = クラブ1回目)

